# 【総括表】

用途 食肉センター

#### 1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	食肉センター	秋葉町	現状維持	

# 2 計画期間

2021 年度から 2026 年度までの 6 年間とする。

# 3 目標使用年数

目標使用年数は57年以上とする。

#### 4 対策の優先順位の考え方

当該施設は、市の畜産振興や市民への食肉の安定供給など一定の公益性を有する施設である。施設運営においては、と畜作業に伴い汚泥処理が発生するため、周辺住環境向上のため、環境対策も兼ねた建物の維持管理と安全の確保が求められる。

なお、対策の実施にあたっては、施設の老化状況や点検・診断結果等を踏まえ、財政負担の平準化も考慮しながら、計画的に行うものとする。

1   施設名   食肉センター
------------------

# **1 施設の概要** (2019年3月31日時点)

所在地	秋葉町	延床面積 2,302.09 ㎡
-----	-----	-----------------

#### 建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積(㎡)	階数	備考
と畜棟	RC造	1967	1,399.00	1階	
事務棟	RC 造	1980	654.48	2階	
警備員室	W 造	1967	41.41	1階	
更衣室	W 造	1980	35.00	1階	
コンポスト舎	S造	1981 頃	100.00	1階	
焼却炉室	S造	1967頃	40.00	1階	
倉庫	S造	1967頃	32.20	1階	

### 2 個別施設の状態等

# 施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等

食肉センターは建築後52年を経過し、経年による老朽化が著しい。特に事務棟は建築以来壁面の塗り直し等をしておらず、さびが浮き出る、ひびが入る等摩耗が著しい。 現在使用貸借にて豊田食肉事業協同組合(民間)が運営しており、施設の一切の維持管理(修繕含む)等は組合が行う協定を結んでいる。

## 3 対策内容と実施時期

#### (1)基本的な考え方

①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の3つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。

# (2)取組方針

以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。

# ☑:1) 点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

豊田食肉事業協同組合の日常点検により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。また、点検結果を踏まえた適正な修繕により安全性を確保している。

□:2)施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
該当しない
// CERTAIN NET CARONCO
口:3)民間活力の導入による事業推進や運営改善
※豊田食肉事業協同組合に貸出のため
□:4)施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
該当しない
※豊田食肉事業協同組合に貸出のため
(3) その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

- 4 対策内容(計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築等)
  - ※「年次計画表一覧」を参照。